

平成 22 年 度
事 業 報 告 書

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 HOKKAIDO しっぽの会

平成 22 年度事業報告書

平成 22 年 4 月 1 日から 平成 23 年 3 月 31 日まで
特定非営利活動法人 HOKKAIDO しっぽの会

事業の成果

本年度も活動の軸である行政機関に收容されている犬猫の保護・譲渡事業を積極的に行った。また、より多くの方々に対して、北海道、ひいては日本国内における犬猫の現状を、会報やインターネット、イベントを通じて啓発し、人とペットが共生していく社会づくりに寄与することに取り組んだ。8 月には、特定非営利活動法人（NPO 法人）となり、より一層、社会貢献できるように努めた。第 3 回しっぽの会アニマルチャリティ「知ることからはじまる」紀伊国屋書店札幌本店にて 5 日間開催し、命の大切さを多くの人々に伝えた。北海道の動物行政に対し、改善を求め署名活動を開始した。評論誌北方ジャーナルにペットの現状特集記事が連載され、しっぽの会の活動が掲載された。札幌市小動物獣医師会主催の市民公開講座に代表稲垣が講師として参加。ホームページに北海道内全保健所情報のページを作成、收容動物の周知と情報の拡散をした。ホームページを再リニューアルする。新たに「しっぽの会地域猫」の取り組みを始めた。

事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

1. 保護事業

行政機関から殺処分される犬猫を引き取って、新しい飼い主を探す事業では 157 匹の犬猫を譲渡していますが、前年度の犬猫譲渡数 184 匹より 27 匹減少しました。また、保護した犬は 110 匹、猫は 81 匹の合計 191 匹で、前年度の犬猫保護数 173 匹より 18 匹多くなりました。本年度は保護数が多いわりに譲渡数が少なくなり、高齢やハンデのある犬猫の引取りが増えたのが一因です。また、死亡数は昨年より 8 匹から 7 匹多い 15 匹になり、病気で長く患っていた猫の死亡が増えました。

犬・猫保護状況（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

| 犬・猫 | 引取り数 | 譲渡数 | 引き取り後死亡数 | 譲渡率 |
|----------|------|-----|----------|-------|
| 平成 21 年度 | 173 | 184 | 8 | 94.0% |
| 平成 22 年度 | 191 | 157 | 15 | 82.2% |

| 犬 | 引取り数 | 譲渡数 | 引き取り後死亡数 | 譲渡率 |
|----------|------|-----|----------|-------|
| 平成 21 年度 | 117 | 129 | 5 | 90.1% |
| 平成 22 年度 | 110 | 95 | 6 | 86.4% |

| 猫 | 引取り数 | 譲渡数 | 引き取り後死亡数 | 譲渡率 |
|----------|------|-----|----------|-------|
| 平成 21 年度 | 56 | 55 | 3 | 98.2% |
| 平成 22 年度 | 81 | 62 | 9 | 76.5% |

■健康管理状況

昨年から保護犬猫に実施しているマイクロチップ装着の継続、引き続き成犬・成猫だけでなく、子犬・子猫に早期不妊・去勢手術の実施をしています。これにより、当会から譲り渡す犬猫は、麻酔による弊害など健康に問題がない限り、子犬・子猫を含む全匹に不妊・去勢手術を実施しています。

■飼育環境状況

7月に猫専用の猫舎が完成。感染症に罹った猫たちの専用部屋や多頭がフリーで遊べる部屋を作りました。11月には、新しい犬舎の工事が着工、3月に完成し、犬の収容数が増えました。

2. 動物の保護・愛護・福祉の啓発事業

評論誌北方ジャーナルにペットの現状の特集記事が掲載され、しっぽの会が3回に亘り特集され動物の愛護福祉を訴えた。第3回しっぽの会アニマルチャリティ「知ることからはじまる」紀伊国屋書店札幌本店にて5日間開催。DJ、アナウンサーの GUCHY 氏、タレント坂上華奈氏、当会代表稲垣真紀によるトークイベント「知ることからはじめよう！」では、犬猫の現状とこれからの課題や一人一人にできることを伝えた。また、北海道、各振興局、札幌市動物管理センター、道内市立保健所、道立保健所などの動物行政に対して「犬猫の引き取り・収容動物の取り扱い及び啓発強化に関する要望」の署名を開始した。インターネット及び自会の会報誌等、テレビや新聞、雑誌等のメディアを通じて、多くの方々や子どもや保護者等に生命尊重を伝えた。札幌市小動物獣医師会主催の市民公開講座に代表稲垣が講師として参加、不幸な動物を減らすための取り組みを紹介した。北海道内全保健所情報ページをアップし、平日に毎日更新し、収容動物の周知や情報を拡散した。ホームページを再リニューアルし、閲覧数も上昇した。「しっぽの会地域猫」の活動を開始、地域猫の周知を開始した。

2010年

5月

特定非営利活動法人（NPO 法人）の申請を行いました。

6月

国際ソロプチミスト北広島様より、「北広島市及び長沼町で熱心に社会貢献している人々」として表彰されました。

7月

- ・新猫舎が完成しました。
- ・評論誌北方ジャーナル様にペットの現状特集記事にしっぽの会記事（1回目）が掲載されました。
- ・北海道新聞様生活面にアニマルチャリティ「知ることからはじまる」イベント記事が掲載されました。
- ・HBCテレビ様の「グッチーの今日ドキッ！」“北の熱人”コーナーで代表稲垣の活動が放送されました。

8月

- ・特定非営利活動法人（NPO法人）として認証されました。
 - ・第3回しっぽの会アニマルチャリティ「知ることからはじまる」を紀伊国屋書店札幌本店にて5日間にわたって開催しました。DJ、アナウンサーの GUCHY 氏、タレント坂上華奈氏、当会代表稲垣真紀によるトークイベント「知ることからはじめよう！」もイベント初日に開催しました。
 - ・北海道の動物行政改善を求め「犬猫の引き取りおよび、収容動物の取り扱い・譲渡における改善要望」の署名活動を開始しました。
 - ・評論誌北方ジャーナルにペットの現状特集記事にしっぽの会記事（2回目）が掲載されました。
 - ・Tシャツ、バック、缶バッジなどオリジナルグッズの発売を開始しました。
 - ・北海道放送様ニュース「グッチーの今日ドキッ！」でしっぽの会主催イベントについて放送されました。
- 北海道新聞様朝刊にしっぽの会主催イベントについての記事が掲載されました。

9月

- ・札幌市、札幌市小動物獣医師会主催の「動物愛護フェスティバル 2010」に初めて参加し、動物愛護の啓発活動を行いました。
- ・評論誌北方ジャーナルにペットの現状特集記事に代表稲垣のインタビュー記事の掲載としっぽの会ボランティア体験記が掲載されました。（3回目）

- ・「2011 動物愛護フェスティバル in えべつ」に参加し、動物愛護の啓発活動を行いました。
- ・北海道空知振興局平成 22 年度動物愛護週間関係行事、動物愛護普及啓発パネル展に参加し、動物愛護の啓発活動を行いました。

10 月

- ・毎年恒例となっているオリジナルチャリティカレンダーを発売しました。(3 年目)
- ・札幌市小動物獣医師会主催の市民公開講座に講師として参加しました。
- ・北海道内全保健所情報ページをアップ、平日毎日更新し、行政機関収容動物の詳細な情報の発信を開始しました。

11 月

- ・ホームページをリニューアルしました。
- ・「しっぽの会地域猫」の取り組みを開始しました。
- ・新犬舎の建設が始まりました。
- ・北海道新聞様に「2011 しっぽの会カレンダー」記事が掲載されました。
- ・北海道新聞社様、UHB 放送様、STV ラジオ様で 「2011 しっぽの会カレンダー」が紹介されました。

12 月

- ・NPO 法人北海道ボランティアドッグの会様主催の「イベントに参加しました。
- ・北海道新聞様生活面に、「しっぽの会の地域猫支援」の取り組み記事が掲載されました。
- ・北海道新聞様「迷い犬猫 引き取り増加」の記事に代表稲垣のコメントが掲載されました。

2011 年

3 月

- ・新犬舎が完成し、引越しを開始しました。
- ・会報は 2 月、5 月、8 月、11 月の年 4 回発行
- ・足長通信は毎月末発行

3. ペットと共生するための地域環境の保全事業

狂犬病などの人畜共通感染症の恐ろしさを伝え、飼い主に正しい飼い方やワクチン接種の

重要さを、一般市民にも保健衛生の大切さを伝えた。野良猫と共生できる方法を伝え、11月には、「地域猫基金」を発足し地域猫の周知に努めた。

※ その他の事業はありません。

<次年度の課題>

1. 3月に発生した東日本大震災で被災した動物たちへの援助活動を実施予定
2. 引き取りした犬や猫の検疫部屋を作る
3. 『命の尊さ・大切さ』をテーマにした主催イベントの開催
4. 平成25年に改正予定の動物愛護管理法のパブコメに積極的に参加する

以上